

## 第103回 平成国際大学長距離競技会

### 【出場結果】

実施日 : 5月3日(水)

会場 : セナリオハウスフィールド三郷

出場者 : 渡辺 瑠偉 小林 航央 関口 大樹 田中 龍誠 坪井 響己

出場種目・出場者・リザルト

氏名	渡辺	小林	坪井	関口	田中
種目	5000m	5000m	5000m	5000m	5000m
組	3組目	4組目	4組目	4組目	4組目
タイム	15'31"30	14'29"01	14'37"26	14'41"34	14'54"23
順位	13/25	3/26	5/26	7/26	12/26

### 【レポート】

春のトラックシーズンを迎え、チームとしては5月20日～21日に栃木県宇都宮市で行われる東日本実業団陸上競技選手権大会に向けてトレーニングを消化しておりますが、現状のコンディションを把握するために、5名の選手が平成国際大学長距離競技会に出場しました。

5000m3組目には1年振りのレースとなる渡辺が出場しましたが、度重なる故障と体調不良が続いていたため、レース感を取り戻すことを課題として走り、本来の走りとは程遠いコンディションながら、目標設定していた15分30秒とほぼ同タイムで走り切りました。

まだまだ復帰途上となりますが、このまま練習を継続して再度本来のキレのある走りを見せてくれることを期待したいと思います。



本来の走りとは程遠い状態の中で必死に粘る渡辺

続いて最終組となる4組目には4名の選手が出場しました。

小林は6月に大阪で行われる日本選手権にピーキングを合わせるため、強度の高い練習を継続しており、疲れが残る中でのレースでしたが、終盤も粘り切り14分29秒台でのゴールとなりました。

4月に一度コンディションを落としていた坪井もしっかりと自分でペースを組み立て、14分37秒台で余裕を持ってゴールし、復調をアピールしてくれました。

シーズン2戦目となる関口は14分41秒台で安定した走りを見せ、次レースでは目標とする14分25秒切りを達成して欲しいと思います。

田中は中盤以降苦しい走りとなりましたが、14分台では纏める走りが出ており、ここからコンディションを上げていってくれることを期待したいと思います。



6月の日本選手権を見据えてレースを進める小林



終始リラックスした表情で復調の走りを見せる坪井





シーズン 2 戦目も安定感のある走りを見せた関口



中盤以降は苦しい表情を見せつつも粘る田中

## 【総 評】

東日本実業団陸上競技選手権大会に向けて、各選手とも現状のコンディションを確認しながらのレースとなりましたが、故障からの復帰レースとなった渡辺を除いては全員が 14 分台で纏められており、絶好調の選手はいないものの、ここから順調にコンディションを上げていけば、各選手ともに昨シーズンを超える結果を残してくれそうな手応えを感じることが出来ました。

まだまだシーズンイン出来ていない選手もいますが、チーム全員が前半期のトラックレースを経験して、秋の駅伝シーズンを迎えられるよう、日々のトレーニングに邁進して参ります。

今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。